

(海外・国内) 出張報告書 (学生用)

年 月 日提出

氏名	小林武志
所属	薬理学教室
学年	D2
出張先	ケープタウン
出張期間	7/12～7/19
目的	第 17 回国際薬理学会でのポスター発表

活動内容 (2,000 字程度、活動内容が判る様な写真や図表を加えて下さい)

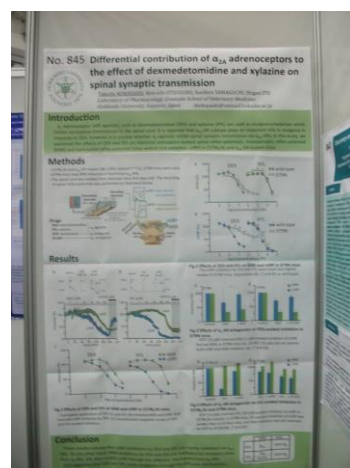
今回参加した第 17 回国際薬理学会 (17th World Congress of Basic and Clinical Pharmacology: WCP2014) は 7 月 14 日から 18 日までケープタウンの Cape Town International Convention Centre で開催され、世界中の薬理学者によって口頭およびポスターで発表が行われました。

7 月 12 日の 7:50 の飛行機で新千歳空港を出発し、成田空港、チャンギ空港 (シンガポール)、ヨハネスブルグを経由してケープタウンに 13 日の 10:00 (現地時間) 頃に到着しました。

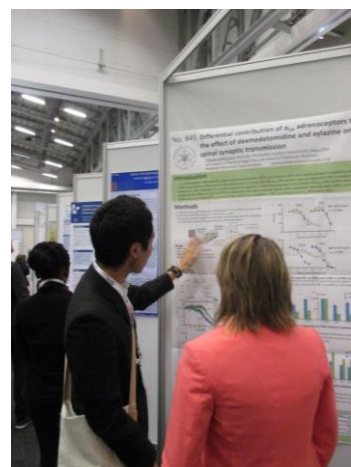
14 日よりシンポジウムと一般演題およびポスター発表が始まりました。自分の研究内容と深く関連する発表はほとんどありませんでしたが、教室で行われている研究に関連した発表などで勉強になるものは多くありました。特に神経薬理の分野では興味深い発表がいくつかありました。また、プレゼンテーション資料の作り方や話し方がとても理解しやすい発表があり、参考になりました。特に印象に残ったのは大講堂で行われたプレナリーレクチャーで、自作の歌と動画

(<http://www.youtube.com/watch?v=kuYGGJOcloH8>) を発表の冒頭に流したのに驚きました。発表の内容がまとめられていて、その後のプレゼンテーションが理解しやすくなりました。他の発表においても、3D の分子構造を見せるときなどに動画が多く使われていました。自分もそのような動画編集技術を身につけたほうがいいのかもしいと感じました。ただ、プレゼンテーションの後にディスカッションをするための時間がほとんど設けられておらず、スケジュールに余裕がなかったのが残念でした。

自分のポスターは「Differential contribution of α_2A adrenoceptors to the effect of dexmedetomidine and xylazine on spinal synaptic transmission.」というタイト



ルで演題登録を行い、ポスターNo.845 で 16 日の 8:00 から 17 日の 17:00 までの 2 日間掲載しました。また、17 日の 12:00～13:00 はポスターの前で説明およびディスカッションを行いました。自分の研究テーマである $\alpha 2$ アドレナリン受容体に関するポスターが同じセクションにいくつか掲載されていたので、その発表者とディスカッションを行いました。特に、G タンパク質共役型受容体の活性化の測定方法に関するポスターが複数あり、有意義な情報が得ることができました。しかし、登録したものの貼られていないポスターが数多くあり、自分の研究内容と関係がありそうなポスターもいくつか貼られていなかったのは残念でした。また、今回自分が使用した薬物であるデクスメデトミジンについて研究している ORION Pharma 社の社員の方が自分のポスターに興味を持ち訪ねて来ました。自分のポスターの結果や資料を希望されたので後日メールで送ってあげました。



18 日の 10:45 (現地時間) にケープタウンを出発し、19 日の 23:30 頃に新千歳空港に無事に到着しました。

今回の学会を通じて感じたことは、英語でのコミュニケーションにまだ難があるということです。とくに現地の南アフリカ人の英語がとても聞き取りにくく、ホテルのスタッフとのやりとりに苦労しました。多少くせのある英語でも聞き取れるようになってはいけないと感じると同時に、おそらく自分の英語も発音などが悪くネイティブの人達にとってはかなり聞き取りづらいのだろうと反省しました。逆に、多少の予備知識がある分野の口頭発表は、よほど早口でない限りかなり理解できるようになっていました。しかし、英語での日常会話も磨かなくては海外に滞在するときに苦労することを実感しました。また、飛行機での長時間の移動は初めての経験でとてもしんどかったので今後海外に行く機会があれば、なにか対策をしようと思います。

指導教員確認欄	所属・職・氏名： 薬理学教室准教授 乙黒 兼一 印
---------	------------------------------------

※1 電子媒体を e-mail で国際連携推進室・リーディング大学院担当に提出するとともに、指導教員が押印した原本を国際連携推進室・リーディング大学院担当に提出して下さい。

提出先：国際連携推進室・リーディング大学院担当

内線：9545 e-mail: leading@vetmed.hokudai.ac.jp